

令和元年9月20日

短期留学留学報告書

標記について、下記のとおり報告します。

記

○基本情報

氏名		所属	法 学部 法律 学科 2 年
学籍番号		留学期間	令和元年8月～令和元年9月
留学先国・地域	カナダ・マニトバ州	留学先(学校)	マニトバ大学

○報告内容

<p>1. 留学前準備(留学に参加した理由、留学の目的・目標等) ※必須(300字以上)</p> <p>私が高校一年生の頃、一度留学をさせていただく機会がありました。その時は、トビタテ留学JAPANという国のご支援の元、時自分のやりたいことをできるという留学プロジェクトの一期生としてアメリカに渡航しました。当時の私の留学プランを簡単にまとめると、世界中から集まった留学生とバレーボールと英語のレッスンを受けながら異文化交流を楽しむというものでした。中学一年生の頃からバレーボールを始めていたこと、外国人と英会話をすることに興味を持っていた私にはもってこいの機会だと思い、選考を経てアメリカに行くことができました。当時の私は英語力も大したものではなく、現地でも日本人と行動していた時間が多かったように思います。外国人との交流ももちろんありましたし、今でも繋がりのある友達はいませんが、やはり思うようにコミュニケーションが取れなかった経験が今でも記憶に残り後悔しています。受験を経て大学生になり、高校一年生の頃よりは英語力もコミュニケーション力も向上したと思うようになったため、もう一度留学に挑戦してみたいという気持ちが強くなりました。そしてマニトバ大学への留学が決まっただけで、今こそは現地での外国人との交流を大事にし積極的に英語を使っていくことを目標としていました。</p>
<p>2. 留学中に心がけたこと、努力したこと(授業、日常生活、留学中の活動等) ※必須(300字以上)</p> <p>この留学は、國學院大学からの参加者が約20名、日本の他大学からの参加者も非常に多く現地に着いてしばらくは日本人と話す機会しか無く正直焦っていました。ですがその時間があつたからこそ日本人の友達も沢山できました。一緒に学ぶ日本人の仲間との交流も大事にしなが、クラスの友達、先生方と交流をし日本のことについて教えていこうと心がけました。授業で取り扱う教材には度々日本について書かれた文章があり、その度に先生も日本人留学生に詳しく話をしてほしいと頼んできました。私は積極的に発言を少しでも多く日本について分かってもらえるように試みました。隣に座っていたメキシコの留学生の女の子も真面目な子で、沢山私とおしゃべりしてくれました。メキシコに行ったことがない私ですが、メキシコでもタピオカが流行っていることやオススメの料理について聞いたことで、一度行ってみたいと思うようになりました。生活面では、用意されている全てのアクティビティに参加するようにし、部屋で寝るのでは無くみんなを誘って買い物に行ったり散歩やジムに行くなど、普段日本ではできないような生活を送ろうと心がけました。実際、ジムでみんなとバレーボールをしたり、6回程通ってトレーニングをしたり、寮にあるゲームルームでみんなと遊んだりとても充実した生活を送ることができました。</p>
<p>3. 留学の成果(留学の目的・目標の達成具合、新たに発見したこと、感じたこと等) ※必須(300字以上)</p> <p>今回の留学の一番の成果は、帰国後に前回の留学と比較してみたときによくわかりました。まずは関わりを持った人の数の多さです。前回の留学では、一緒に行った日本人と現地で出来た外国人の友達数名としか関わられませんでした。今回は全く初めて出会った國學院留学生を始め、他大学の学生、クラスやアクティビティを通して仲良くなった外国人留学生、先生など多くの交流を持つことができました。SNSも交換し、今でも頻繁にメッセージの交換などを続けています。私のクラスにいた外国人留学生の一人に韓国人の男子生徒がいたのですが、帰国後に行った韓国旅行ではインスタグラムを通し連絡を取り合い、現地で再会を果たすことができました。英語力については、帰国後すぐに受けたTOEICで留学前よりも20点ほど点数が上がったこと、特にその中でもリスニングの点数が依然より格段と上がっていたことが大きな成果だと思います。試験中自分でもわかるぐらい、聞き取りの能力が上がっていました。街中で外国人に道を尋ねられた時もすぐ答えることができ、成長を感じられました。発音もよくなっている気がします。</p>
<p>4. 留学の成果の活用(留学で学んだことを今後、どのように活かしたいか等) ※必須(300字以上)</p> <p>私は現在渋谷のユニクロでアルバイトをしているのですが、やはり外国人のお客様の対応で苦戦したことが過去に何度ありました。話していることは聞き取れなくても、上手く表現できなかったり、目的地までの経路を説明しあげられなかったりと不安定な感覚が多々ありました。今後はそのような対応に限らず、商品の説明やオススメまでもできるようにすれば、お客様にもお店にも良い影響を及ぼせるのではないかと思います。現地の先生が、ネイティブの人だって文法を間違えたり発音を間違えることもあるから、これからも失敗を恐れははいけないとおっしゃっていました。また、習ったことは続けていかないと意味がないと学んだので、今後もどんどん英語を使っていきたいと思っています。</p>

氏名		所属	法 学部 法律 学科 2 年
学籍番号		留学期間	令和元年8月～令和元年9月
留学先国・地域	カナダ・マニトバ州	留学先(学校)	マニトバ大学

<p>5. 留学中の画像(お気に入りのスナップ) ※必須(画像1枚以上) ※Excelの「挿入」メニューから「画像」をクリックし、挿入する画像を選択・挿入してください。</p>	
 <p>写真の説明① アクティビティの一つの野球観戦をした日の写真</p>	 <p>写真の説明② スケジュールは変更になりましたが無事に湖にいけました。</p>
 <p>写真の説明③ みんなで行った最終日の打ち上げでの一枚。</p>	 <p>写真の説明④</p>
<p>6. 外国語での記述欄(上記1～4の項目について要約し、留学地域の言語で記述してください) ※必須(字数・語数は問わない)</p> <p>I was so nervous when I joined the orientation because there were no one who I knew. When I tried to study abroad four years ago, I made a lot of regret. For example the lack of courage to communicate with people in English. After that I studied English so hard to enter the university, and my English skill was improved. I think it is a big chance to try again to study abroad. In this studying abroad, I tried not to afraid of making mistake to use English, and keep using it with foreign people. In the class, I teach a lot of Japanese culture and be taught some other countries it too. I also tried to make a lot of Japanese friends from other university. In order to achieve the goal, I joined to all activities like sport, watching baseball and so on. The most interesting thing I experienced in the dormitory is playing with friends in the game room, watching movies in the TV room. I could make the best friends!! After I came back to Japan, I hunged out with them three time, and invited them to my home. This studying abroad made me strong and much sociable person. I learned the important thing, "the native English speaker also make mistake when they use it, so I don't have to afraid of making mistake and use more and more English." So I never give up to study English and keep using it at a part time job, school and wherever I can do it.</p>	
<p>7. その他(自由記述)</p> <p>今回の留学は、私にとって本当にいい経験になりました。語学の向上はもちろん、人としても大きく成長させられる経験を沢山できたと思います。國學院の学生とも仲良くなれましたし、海外に友達が増えたこともまた一つ自信になりました。積極的に英語を使ってコミュニケーションを図り、自分の伝えたいことをしっかりと伝えたことがこの結果を導いたのだと確信しています。カナダ自体も気候、環境共に最適で、もう少し長居したくなるような場所でした。ぜひまた来年も参加したいと思っています。このような充実した留学プログラムを準備していただき、本当にありがとうございました。今後の自分の活躍を通して、今回の留学での成果をお見せできれば、と思っております。</p>	